

新館長ごあいさつ



4月より新しく歴史資料館長に就任しました讃岐と申します。

私は、国指定史跡国分寺跡の史跡整備と歴史資料館建設に伴う発掘調査に携わり、ここは大変に思い深い所です。

私の歴史資料館に対する思いは、市民の皆さんが親しみやすく歴史を学べ、さらに情報提供に満足していただける資料館でありたいと考えております。

歴史や文化に対する市民の期待に対して、資料館が努力を怠れば市民からそっぽを向かれることは、必然的であり

ます。そのためにも、年4回のテーマ展示や年1回の特別展を成功させ、各種の歴史講座や先人たちが残してくれた技術と知恵を学ぶための歴史体験学習を一層充実させ、学校や社会教育施設、地域との連携を深めるとともに、大分の歴史を語る資料の収集と調査研究を積極的に進めていきたいと思います。

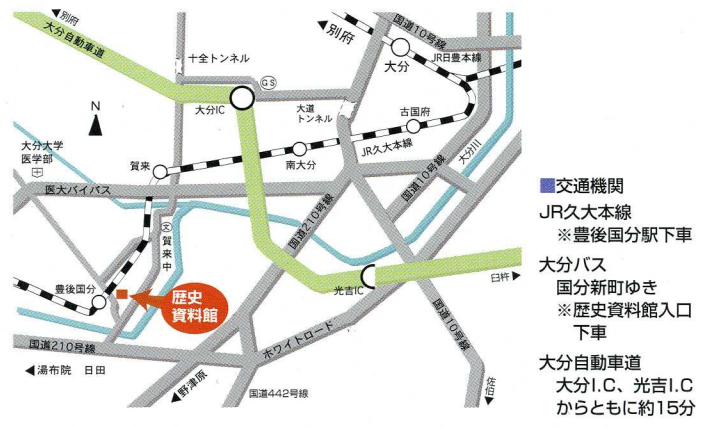
また、隣接する豊後国分寺跡、史跡公園の活用など市民の皆さんに広報活動を進めることで、大分の歴史や文化財に対する関心を高めていただき、市民の皆さんとともに成長する歴史資料館であることをめざし、このことを発信し続けていきたいと思います。

平成18年4月

歴史資料館長 讃岐和夫

利用案内

- 開館時間 9時から17時(入館は16時30分まで)
■休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館)
■観覧料 大人200円(団体150円) 高校生100円(50円)
■住所 〒870-0864 大分市大字国分960-1 TEL097-549-0880



交通機関
JR久大本線
大分バス
大分自動車道

子ども歴史教室

実施日と内容

- 第1回 4月22日(土) 縄文土偶作りと土器の拓本体験
第2回 5月20日(土) 遺跡発掘体験
第3回 6月17日(土) 縄文かご編み体験

- 時間 各回9時30分~12時
参加費 第1回 土偶1個につき 240円
第2回 無料
第3回 かご1個につき 300円

- 定員 各回50名(先着順)
申し込み 電話でお申し込みください。第1回は受付中。第2回は5月3日、第3回は5月17日より受け付けます。

ふれあい歴史体験講座

一般の方のみでも参加できます。

- 実施日と内容 4月29日(祝) 土笛作り
5月27日(土) 火起こし
6月24日(土) 勾玉作り

- 時間 9時30分~14時(各回約2時間)
参加費 土笛 1個50円/火起こし 無料
勾玉 大1個 200円 ミニ1個 190円

- 定員 各回70名(先着順)
申し込み 電話でお申し込みください。土笛作りは受付中。火起こしは5月3日、勾玉作りは6月3日より受け付けます。



子ども歴史教室では、新しく縄文かご編み体験が加わりました。ぜひ、ご参加ください。

テーマ展解説講座

- 内容 講座室でテーマ展「物語をみる」についてスライドなどで解説したのち、展示室をご案内します。
日時 4月23日(日) 14時~15時30分
講師 歴史資料館職員
参加費 展示をご覧になる場合は観覧料が必要です。

ミュージアム・シアター

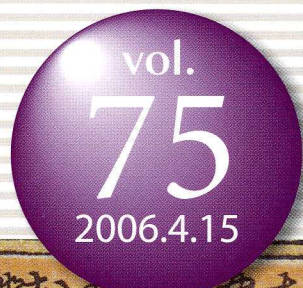
- 実施日 4月23日(日) 国宝・源氏物語絵巻
5月28日(日) 絵巻/中臣鎌足と中大兄皇子
6月25日(日) 美のこころ-墨絵の世界 平家物語

- 時間 13時~
料金 無料 申し込み 不要

大分市歴史資料館

OITA CITY HISTORICAL MUSEUM

ニュース



大分市歴史資料館 テーマ展示 I
物語をみる
4月15日(土)~7月2日(日)

トピックス
歴史資料館がめざすもの

東海道中栗毛弥次馬・藤沢宿

物語をみる

会期:平成18年4月15日(土)~7月2日(日)

「物語をみる」というタイトルに違和感を覚える方も多いのではないのでしょうか。「物語」は「読む」のであって、「みる」ものではないと。しかし、日本人は昔から物語のある場面を絵にして「みて」楽しむことができました。そのような絵を物語絵と呼んでいます。

平安時代中期、11世紀初めに書かれた「源氏物語」には竹取物語絵巻などを見せ合う場面があり、物語絵自体は10世紀から描かれはじめていたようです。

物語絵はただ本文を読む以上に物語がかもし出すイメージを増幅させてくれます。今回は当館が所蔵する物語絵3作品を紹介し、どのような場面かわからなくても、逆にストーリーを想像してみるなど、いろいろな角度から物語絵の世界をお楽しみください。

大織冠図屏風 (たいしょくかんずびょうぶ)

この屏風は大織冠こと藤原鎌足にまつわる伝説を描いています。鎌足のことは大化の改新の中心人物としてご存知の方も多いでしょう。しかし、ここに描かれた物語は歴史的事実による鎌足の伝記ではなく、幸若舞という踊りの台本に基づいています。

物語のあらすじはつぎのようです。絶世の美女と名高かった鎌足の娘は中国の皇帝と結婚します。そして、父鎌足が寺を建てることを知り、水晶の玉などの宝物を贈ることにしました。その途中、竜王がこれを奪おうと襲いますが、失敗します。あきらめきれない竜王は龍女を美女に変身させ、護衛する將軍をだまして、水晶玉を奪いました。それを知った鎌足は身分を隠して若い海女と結婚し、3年後妻に竜宮城へ行って玉を取り返してほしいと頼みます。妻は竜宮まで潜り、玉を取り返すのに成功しますが、竜王に追いつかれ、亡くなります。しかし、遺骸を引き上げると、玉は胸に隠されており、無事鎌足の手に戻り、寺に納められました。

屏風には物語の説明は一切ありません。それは、江戸時代、このお話は歌舞伎や浄瑠璃でも演じられており、誰もが知っていたからです。説明はなくても見た人はすぐさま、「ああ、大織冠ね」とわかったはずで。

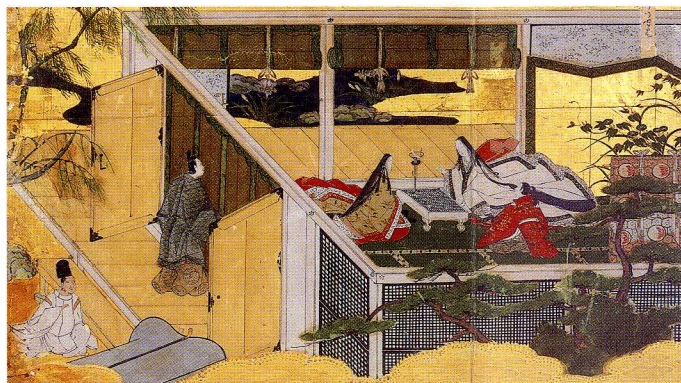
写真:上が右隻、下が左隻



源氏物語図 (げんじものがたりず)

わが国古典文学の最高傑作「源氏物語」全54帖から各帖一場面ずつを描いた作品。元は六曲一双の屏風に貼られていましたが、20数年前に場面ごとに切り離され、当館で23面を所蔵しています。桃山時代(17世紀初め)、狩野光信系の絵師工房の作と考えられ、54帖すべてを屏風に描くタイプとしては、制作年代が古い作品の一つです。

源氏物語絵は物語絵の中でもポピュラーな分野で、国宝・源氏物語絵巻(12世紀)以降数多くの作品が生み出されています。屏風や色紙に描かれた源氏物語絵の多くは女性の婚礼道具でした。女性たちは豪華絢爛な屏風を部屋に飾り、また、色紙が貼られた画帖をめくりながら、主人公の光源氏が織りなす恋物語に胸をときめかせ、自分を光源氏の恋人におきかえて、楽しんでいたのでしょうか。



空 蟬 (巻3)

源氏、17歳。源氏は伊予介の後妻空蟬に恋していた。ある晩、伊予介の息子紀伊守邸に忍びこみ、空蟬が碁を打つ姿を覗き見た。



若 紫 (巻5)

源氏、18歳。春、源氏は病氣となり、祈禱のため北山の僧都を訪ねた。その近くの庵で、美少女若紫が雀が逃げたと騒ぐ様子を覗き見た。

東海道中栗毛弥次馬 (とうかいどうちゅうくりげやじうま)

江戸時代後期(19世紀前半)に十返舎一九が書いたおもしろ話「東海道中膝栗毛」を幕末の戯作家仮名垣魯文が、エピソードを増やすなど脚色し、絵を添えて、万延元年(1860)に出版されました。本来は上下2巻からなりますが、上巻のみ所蔵しています。

原典の「東海道中膝栗毛」は弥次さん・喜多さんの二人が東海道を旅する途中で繰り広げる失敗談や滑稽話がつづられ、当時の旅行ブームを背景に大ベストセラーとなりました。これを読み、見た人は、抱腹絶倒しながら、旅行のための予備知識を得たり、また、弥次・喜多二人に叶わぬ旅の夢を託したりしていたのではないのでしょうか。



大磯宿 (神奈川県)



藤川宿 (愛知県)

歴史資料館がめざすもの

歴史資料館では、今後の資料館活動の指針として「歴史資料館がめざすもの」(使命書)を作成しました。これからは、この使命書に基づき、中長期活動計画を策定し、常に自己点検・自己評価し、そして、利用者の皆さまの声を反映させながら、よりよい資料館活動をめざしていきたくと考えております。

【大分の歴史遺産を生かし、市民とともに創る歴史資料館】

■歴史遺産を受け継ぎ、大分の歴史的特性を発信し続けます

大分市は瀬戸内海の西端に位置し、海の道の要衝として歴史を刻んできました。また、奈良時代豊後国府と国分寺が置かれ、中世には大友氏が本拠とするなど、現代まで大分県の中心となっています。

資料館ではさまざまな資料を活用し、常に新しい情報を取り入れ、市民に対し大分の歴史的特性を、よりわかりやすく紹介する展示活動を行います。そのため、大分の歴史を物語る資料を収集し、それら資料の調査・研究を進め、展示をとおり市民に公開・還元するとともに、未来の市民のために歴史遺産として受け継ぎ、保存していきます。さらに、高度情報化社会に適応した方法により、収蔵品や大分の歴史に関する情報を積極的に発信していきます。

■体験活動を中心に歴史の楽しさを体感できる場を提供します

生涯学習社会において、資料館は社会教育施設としてその一翼を担わなければなりません。日常的な調査・研究の成果を市民に還元するため講座を実施し、市民の知的欲求に応じていきます。また、社会教育関連施設や団体と連携し、歴史情報の普及につとめます。

さらに、近年体験をとおりた学習が重視されており、体験を伴う講座を充実させ、子どもから大人まで楽しみながら、大分の歴史と生活の知恵を学び、体感できる場を提供していきます。

■学校とともに、子どもたちの歴史学習を支えます

今、学校ではさまざまな学習をとおり「生きる力」を育む教育が重視されています。このなかで、先人の営みを学ぶ歴史学習はとても重要だと考えます。資料館では、学校と連携し各教育課程に適応した、収蔵資料を利用した学習や体験活動のプログラムを開発・充実させ、資料館での団体利用、職員が学校へ出向く移動歴史教室を推進します。また、展示や書籍を利用した調べ学習ができる環境を整え、未来を担う子どもたちの歴史学習を支えます。

■文化財探訪の拠点施設をめざします

資料館は豊後国分寺跡史跡公園に隣接しています。この立地を生かし、史跡公園の利用をこれまで以上にPRすることにより、展示と史跡を有機的に結びつけ、活用の相乗効果をはかります。

また、市内各所に点在する史跡・文化財に関する情報を蓄積し、市民に対して周知をはかります。さらに、歴史資料館を拠点にこれら史跡・文化財や他の資料館を回遊するルートを設定し、有効的な利用の促進に努めます。

■市民とともに成長する資料館をめざします

これからの資料館運営には市民の支持や参加が不可欠です。常に資料館に対する市民のニーズや満足度の把握につとめ、運営に生かしていきます。また、ボランティアの活用などにより、活動への市民の参加をはかります。市民との対話と連携を深め、大分の歴史を学び、体感する喜びを共有し、市民とともに成長する資料館をめざします。